

畜産みやぎ

題字 宮城県知事 本間俊太郎

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部62円

印刷所 KK東北プリント



第42回東北鞍馬競技大会 (涌谷町：4月28日)

もくじ

平成4年度畜産振興の基本方針と重点施策……	2
家畜共済事業実績について……	4
平成3年度生乳需給状況並びに	
平成4年度生乳需給調整対策について……	6
系統豚「ミヤギノ」平成4年度配布計画決まる……	7
「伊達な和牛の郷づくり推進事業」	
について(その1)……	8
畜産試験場における平成4年度の試験研究計画……	9
豚ミステリー病について……	10
随想……	10

平成4年度畜産振興の基本方針と重点施策

宮城県畜産課

牛肉輸入自由化2年目を迎え、依然厳しい畜産情勢下にあります。

前号では、平成4年度の当初予算の概要と新規を含む特色ある事業の一部を紹介いたしました。今号では今年度事業を実施するに当たっての基本方針及び重点的に実施する施策について紹介いたします。

1 基本方針

本県の畜産は、食生活の多様化等を背景とする畜産物需要の伸び等に支えられ、農業粗生産額の3割を占めるまでに発展し、本県農業の基幹的部門となっています。

しかしながら、最近においては、畜産物需要の伸びが総じて鈍化しており、部門によっては需給の不均衡、畜産物価格の低迷等の問題を抱え、また、対外的には牛肉輸入自由化2年目を迎え、輸入牛肉の関税率が60%となったほか、ガット・ウルグァイ・ラウンドにおいて、新たな貿易ルールを策定するための交渉が行われている等、畜産をめぐる情勢は厳しいものがあります。

このような情勢の中で、本県畜産の健全な発展を図っていくためには、生産性の高い畜産の実現、高品質畜産物の生産等、畜産経営の体質強化の推進、畜産を主体とした地域の活性化を図るとともに、畜産物の需給動向に即した生産が不可欠です。また、畜産物流通の合理化や消費者ニーズの変化に対応した商品の開発等を図ることが重要です。

このため、本年は「21世紀に向けた魅力ある畜産の展開」をスローガンに、牛肉輸入自由化関連対策、担い手対策及び生産性向上対策として「伊達な和牛の郷づくり運動」の展開、酪農ヘルパー制度の拡充、系統豚の普及定着等を積極的に推進するとともに、地域ぐるみの畜産経営環境の整備、家畜保健衛生対

策を強化するほか、畜産物の安全性の確保、流通の合理化等各般の施策を次の事項に重点を置いて推進します。

- 1 新時代に対応した“伊達な肉用牛”の展開
- 2 ゆとりのある先進的酪農経営の振興
- 3 地域ぐるみの養豚・オリジナリティ畜産の振興
- 4 魅力のある畜産を支える生産・環境基盤の整備
- 5 高度な畜産新技術の開発・普及

2 重点施策

1 新時代に対応した“伊達な肉用牛”の展開

牛肉自由化2年目を迎え、国際化の進展や産地間競争の激化等に対応するため、21世紀に向けた先進的肉用牛産地の育成と魅力ある農村づくりを目指した「伊達な和牛の郷づくり運動」を展開するとともに、優れた雌牛の効率的な生産体制を整備するほか、高級牛肉「仙台牛」の生産拡大、大衆牛肉交雑種肉用牛等の低コスト化に向け、生産体制を強化します。

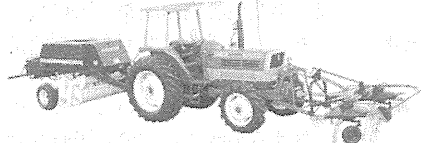
主な対策

- (1)肉用牛改良対策
- (2)肉用牛経営安定対策
- (3)肉用牛流通対策

2 ゆとりのある先進的酪農経営の振興

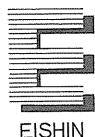
牛肉自由化の影響によるヌレ子等副産物価格の低迷、担い手の減少等に対応するため、酪農経営の体質強化を目指し、乳肉複合経営の推進、乳用牛改良

WORLD カボク サンシャイン



株式会社 **五十嵐商会**

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役社長 山田 修造

本社(畜産課) 仙台市若林区卸町2丁目10-3

☎(022)284-8111 FAX(022)284-8127

古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

の推進及び新技術の導入等を図るとともに、酪農後継者等の円滑な就農を図るためのヘルパー制度の拡充により、ゆとりのある酪農振興を図ります。

主な対策

- (1)乳用牛改良対策
- (2)酪農経営安定対策
- (3)牛乳・乳製品流通対策

3 地域ぐるみの養豚・オリジナリティ畜産の振興

消費者ニーズの変化、豚肉の流通・加工の合理化に対応した本県養豚の体質強化を目指し、系統豚ミヤギノの効率的普及、受精卵移植技術を活用したSPF豚の作出を図るとともに、畜産経営環境の整備、自衛防疫活動の推進を強化するほか、新しい家畜の導入等により、特色のある宮城の中小家畜の振興を図ります。

主な対策

- (1)豚改良対策
- (2)養豚経営安定対策
- (3)肉豚流通対策
- (4)オリジナリティ畜産対策

4 魅力のある畜産を支える生産・環境基盤の整備

大家畜畜産経営の安定的発展のため、飼料基盤の拡充と効率的利用を推進するとともに、混住化の進展等に伴う畜産経営に関わる環境問題に対応するため、畜産経営の周辺環境の整備や家畜ふん尿処理施設の整備等を積極的に推進するほか、家畜伝染病の発生予防、畜産物の安全性確保等家畜保健衛生対策を強化します。

主な対策

- (1)飼料生産基盤対策
- (2)畜産環境整備対策

(3)家畜保健衛生対策

5 高度な畜産新技術の開発・普及

畜産物の国内・外競争力の強化を図るため、生産性の向上と高品質が不可欠であり、これらの問題の解決を可能とする受精卵移植技術を積極的に活用、本格的な生産を図るための技術の開発に取り組むとともに、普及のための体制を整備します。

主な対策

- (1)受精卵移植技術の開発・実用化対策
(畜政係 伊藤 伸)

地方競馬全国協会



畜産の健康と未来に貢献する

獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 264151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1
TEL 0229-26-4567

花巻営業所	水沢営業所	青森営業所
盛岡営業所	大館営業所	八戸営業所
大船渡営業所	横手営業所	山形営業所
酒田営業所	福島営業所	

STAR

スター農業機械

マニュアルフレック

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクホイール)

スター農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

家畜共済事業実績について

宮城県農業共済組合連合会

平成3年度の家畜共済事業実績がまとまりましたのでその概要をお知らせいたします。

1. 加入状況

家畜共済の加入状況は(表1)のとおりで、加入頭数167,618頭、共済金額(共済で保証している支払いの最高額)は306億円になりました。これは前年度と比較して頭数で、1,180頭、共済金額で4億7,961万円増加しました。畜種別には特定肉用牛等(繁殖母牛、子牛、胎児)が3,230頭と大幅な伸びを示しておりますが、他の畜種はいずれも減少しており、とくに乳牛については牛肉の自由化が酪農家の経営にも影響し、廃業等により、前年対比で547頭の大幅な減となりました。

2. 事故発生状況

事故状況は(表2)のとおりで、死亡、廃用事故は7,224頭で、前年度対比で、332頭の増加となり、9億9,830万円の共済金を支払いました。残存物価格の低

迷の状況も依然として続いており、平成3年度でさらに低下した等もあり、支払共済金は1,900万円程増加しました。

死傷事故の主要疾病別の発生状況は(表3)のとおりですが、乳牛では乳房炎、関節炎、肥育牛で尿石症、腸間膜脂肪壊死症、特肉牛で胎児死、新生児死等が多発しており、高品質乳や市場性の高い子牛の生産等、経済・生産性優先の歪みや、農家の飼養管理の失直による事故が目立っている。


病傷事故は83,538件発生し、対前年対比で、3,424件増加し、8億3,305万円の共済金を支払しました。

牛肉の自由化等、最近の厳しい畜産情勢下において家畜共済の役割は大きいものがありますが、家畜の完全引受を図り、事故を最小限にとどめることこそ安定的な畜産経営につながると思われまますので、今後とも関係者皆様のご指導とご協力を賜りたくお願い申し上げます。(家畜部家畜課 菊地重夫)

平成3年度家畜共済引受状況

項目	目 標	平成3年度			平成2年度			増			減				
		頭数	共済金額	平均共済金額	頭数	共済金額	平均共済金額	頭数	共済金額	平均共済金額	頭数	共済金額	達成率		
乳牛の雌	30,000	6,000,000	26,258	4,958,226	189	26,805	5,035,878	188	▲ 547	▲ 77,652	▲ 3,742	87.5	▲ 1,041,774	82.6	
肥育牛	31,690	7,766,800	28,611	6,980,095	244	28,991	7,131,710	246	▲ 380	▲ 151,615	▲ 2	▲ 3,079	90.3	▲ 786,705	89.9
特定肉用牛等	96,100	18,259,000	94,208	18,118,231	192	90,978	17,360,001	191	3,230	758,230	1	▲ 1,892	98.0	▲ 140,769	99.2
胎児	40,320	-	39,494	2,743,506	69	38,273	2,616,350	68	1,221	127,156	1	▲ 826	98.0	-	-
一般馬	120	78,600	127	83,781	660	125	83,288	666	2	493	▲ 6	7	105.8	5,181	106.6
大家畜計	157,910	32,104,400	149,204	30,140,333	202	146,899	29,610,877	202	2,305	529,456	0	▲ 8,706	94.5	▲ 1,964,067	93.9
種 豚	10,670	639,600	4,660	278,229	60	5,304	315,404	59	▲ 644	▲ 37,175	1	▲ 6,010	43.7	▲ 361,371	43.5
肉 豚	16,000	256,000	13,754	204,552	15	14,235	217,228	15	▲ 481	▲ 12,676	0	▲ 2,246	86.0	▲ 51,448	79.9
中家畜計	26,670	895,600	18,414	482,781	26	19,539	532,632	27	▲ 1,125	▲ 49,851	▲ 1	▲ 8,256	69.0	▲ 412,819	53.9
合 計	184,580	33,000,000	167,618	30,623,114	183	166,438	30,143,509	181	1,180	479,605	2	▲ 16,962	90.8	▲ 2,376,886	92.8


*特定肉用牛等には、肉用種雄牛を含む。



ともに前進 技術のオリオン


酪農家の

声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。




東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691
 宮城営業所 古川市新田字泉屋敷59-4 ☎989-61
 TEL (0229)26-4330




飼い上手 育て上手は……
 みのたに……で



動物薬品・獣器具総代理店

株式会社 美濃谷



山形店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL 883121
 仙台店 仙台市太白区山田字羽黒堂5番216 TEL 0954306
 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL 040963

平成3年度家畜共済事故実績表

Table with columns for畜種 (Livestock Type), 年度 (Year), 死 (Death), 廃 (Disposal), 事 (Incident), 故 (Cause), 病 (Disease), 傷 (Injury), 事 (Incident), 故 (Cause). Rows include 乳牛の雌 (Female Dairy Cattle), 肥育牛 (Fattening Cattle), 特定肉用牛等胎児・出生子牛以外 (Specific Meat Cattle etc. Excluding Fetuses/Calves), 特定肉用牛等胎児・出生子牛 (Specific Meat Cattle etc. Including Fetuses/Calves), 一般馬 (General Horses), 種豚 (Breeding Pigs), 肉豚 (Meat Pigs), and 合計 (Total).

*病傷事故の特定肉用牛等(胎児・出生子牛以外)には、肉用種雄牛を含む。

平成3年度家畜共済死廃事故主要疾病別発生状況

(乳牛の雌)

(肥育牛)

単位:頭

Table showing disease occurrence for dairy and fattening cattle. Columns include 順位 (Rank), 1-11 (Disease types), 前年対比 (Previous Year Comparison), and 合計 (Total). Rows list various municipalities like 白石, 角田, 名取, etc.

(特定肉用牛等)

(種豚)

単位:頭

Table showing disease occurrence for specific meat cattle and breeding pigs. Columns include 順位 (Rank), 1-11 (Disease types), 前年対比 (Previous Year Comparison), and 合計 (Total). Rows list various municipalities like 白石, 角田, 名取, etc.

平成3年度生乳需給状況並びに平成4年度生乳需給調整対策について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成3年度生乳需給状況は、全国的に牛肉の自由化等の影響による酪農収益性の悪化が生産意欲の低下につながるるとともに、先行不透明感、後継者難等が相まって離農に拍車をかけ生乳生産が停滞してきており需要期には全国でかなりの生乳が逼迫しました。

本県の生乳生産量は、北海道を除く都府県の平均伸率99%に比べて100.8%と前年実績は上回ったものの、計画数量183,198tに対し180,688tで計画比98.63%と大中に下回る結果となりました。(別表1, 2)

平成4年度生乳需給調整対策(計画生産)は、中長期計画の2年間であり、本年度の目標数量は基礎目標数量が187,536tで前年計画比103.2%実績比103.8%となっており、現在の生産状況と考えた場合かなり高い目標となっております。

そのため、本年度は特別調整乳の申請は行なわず、基礎目標数量だけで実施することになりました。

又、本年度会員別計画生産出荷目標数量の配分については、生産状況を勘案の上実績を加味した配分となつ別表2

ております。(別表3)

本年度は、生乳計画生産の達成がかなり厳しい状況にありますが、酪農生産基盤の維持、拡大を図る上からも、是非目標数量は達成していただきたくお願い申し上げます。(販売課長 武田良介)

別表1

平成3年度四半期別生乳計画生産出荷実績

(単位: %)

	出荷実績乳量	前年比	計画比
第1四半期	46,563,698.2	99.68	
第2四半期	43,966,300.6	98.81	
上半期計	90,529,998.8	99.26	
第3四半期	44,257,685.1	101.34	
第4四半期	45,900,736.6	103.28	
下半年計	90,158,421.7	102.32	
年度計	180,688,420.5	100.76	98.63

平成3年度会員別生乳計画生産出荷実績

	出荷目標(t)			出荷実績(kg)			前年比(%)	計画比(%)	基礎未達量(kg)	1%以上未達量(kg)	ペナルティ対象乳量(t)	平成3年度変更基礎数量(t)
	基礎数量	特別調整乳	出荷数量	基礎数量	特別調整乳	出荷数量						
蔵王酪農	33,400	49	33,449	33,468,349.5	48,949	33,517,298.5	100.05	100.20	△ 68,349.5			33,400
宮城酪農	50,410		50,410	50,247,655.5		50,247,655.5	102.43	99.68	162,344.5			50,410
経済連	33,840		33,840	32,347,016.0		32,347,016.0	98.77	95.59	1,492,984.0	1,154,584	429	33,411
仙台酪農	7,224		7,224	6,574,006.0		6,574,006.0	93.40	91.00	649,994.0	557,754	215	7,009
県酪連	28,808	697	29,505	28,559,287.0	697,135	29,256,422.0	101.21	99.16	248,713.0			28,808
栗原酪農	8,496	57	8,553	8,438,113.0	56,517	8,494,630.0	100.80	99.32	57,887.0			8,496
登米酪農	7,075		7,075	7,166,038.0		7,166,038.0	104.43	101.29	△ 91,038.0			7,075
本吉酪農	6,242	36	6,278	6,229,426.0	36,474	6,265,900.0	102.60	99.81	12,574.0			6,242
遠田酪農	4,952		4,952	4,905,331.0		4,905,331.0	102.14	99.06	46,669.0			4,952
山田酪農	1,907	5	1,912	1,908,655.5	5,468	1,914,123.5	102.27	100.11	△ 1,655.5			1,907
合計	182,354	844	183,198	179,843,877.5	844,543	180,688,420.5	100.76	98.63	2,510,122.5	1,732,338	644	181,710

ビフィズス菌は
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。

ビヒダス®
プレーン
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号
 ☎(022) 384-5181

発育促進・食欲増進・栄養補給に

バイミルコ

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

103.7

平成4年度 会員別生乳計画生産出荷目標数量

(単位: トン)

	(1)平成3年度生乳出荷 基礎目標変更数量	(2)平成4年度 生乳出荷基礎 目標数量配分			(3)平成4年度 生産安定配分	(4)平成4年度生乳出荷基礎 目標数量 (2)+(3)
		目標数量配分(30%)	実績数量配分(70%)	計		
蔵王酪農農業協同組合	33,400	10,275	24,197	34,472	224	34,696
宮城県酪農農業協同組合	50,410	15,509	36,274	51,783		51,783
宮城県経済農業協同組合連合会	33,411	10,279	23,352	33,631	189	33,820
仙台酪農農業協同組合	7,009	2,156	4,746	6,902	10	6,912
宮城県酪農農業協同組合連合会	28,808	8,863	21,121	29,984	670	30,654
栗原郡酪農農業協同組合	8,496	2,614	6,132	8,746	35	8,781
登米郡酪農振興農業協同組合	7,075	2,177	5,173	7,350		7,350
本吉郡酪農農業協同組合	6,242	1,920	4,523	6,443	31	6,474
遠田郡酪農農業協同組合	4,952	1,523	3,541	5,064	27	5,091
山田酪農八日会	1,907	587	1,382	1,969	6	1,975
合 計	181,710	55,903	130,441	186,344	1,192	187,536

- (注1) 平成3年度生乳出荷基礎目標数量には、953tのチーズ仕向け目標数量を含む(チーズ除外目標数量 180,757t)
- (注2) 平成4年度生乳出荷基礎目標数量には、912tのチーズ仕向け目標数量を含む(" 186,624t)
- (注3) 生産安定配分は、平成2年度特別調整乳実績に応じて配分した
- (注4) 平成4年度上期実績が確定した段階で生乳出荷基礎目標数量の達成が困難な会員は、その一部を返還出来るものとし、本会はその数量を必要な会員に配分出来るものとする
- (注5) 万一平成4年度の本会生乳出荷基礎目標数に対し未達、超過が生じ平成4年度又は平成5年度本会生乳出荷基礎目標数量が削減された場合は、その原因となった会員に対し数量按分して帰属させる場合もある

系統豚「ミヤギノ」平成4年度配布計画決まる

宮城県系統豚利用推進協議会

去る平成4年4月24日、宮城県系統豚利用推進協議会(会長:宮城県経済農業協同組合連合会長、星長藏)が開催され、以下の事項が承認されました。

- (1) 平成3年度ミヤギノ配布実績
- (2) 地域生産組織の認定
- (3) 平成4年度生産供給計画(案)

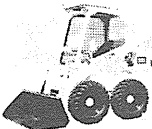
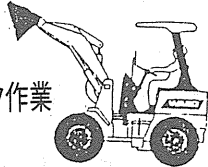
系統豚の普及にあたっては普及のための拠点づくりとしてまとまった頭数の肉豚出荷が可能で、指導・調整が行われやすく、家畜伝染病の侵入・まん延防止が可能な地域内一貫生産を行い得る地域生産組織を対象に優先して推進しております。

平成3年度は8つの生産組織に170頭の種雌豚が配布され、現在のところこれらのうち17頭が分娩し150頭の正常産子が得られ、54頭が妊娠中(他は育成中)であります。

今回新たに、登米中西部ミヤギノ利用推進協議会、ミヤギノポーク仙台地域生産組合、登米町系統豚利用推進協議会及び志田郡系統豚利用組合(再編成)の4組織が認定されました。

平成4年度は既認定の組織と合わせ19の生産組織に410頭の種雌豚を配布することになりました。

(宮城県畜産課家畜改良係 曾根 文浩)

<p>TCM東洋運搬機</p>  <p>糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。 畜産農家の近代化に 作業の省力化に大きく貢献します。 豊富なアタッチメント。</p> <p>TCM東洋運搬機株式会社 東北ティールシーエム株式会社 983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1 電話 022-259-6351</p>	<p>KOMATSU</p>  <p>カンタン操作で、 飼料も堆肥もラクラク作業</p> <p>コマツ宮城株式会社 仙台市宮城野区扇町二丁目1の30 電話 (022) (237) 7441番(代)</p>
--	--

「伊達な和牛の郷づくり推進事業」について（その1）

宮城県畜産課

全国的な肉用牛の産地である本県では、昭和63年度から平成3年度まで「みやぎ和牛の郷づくり」（ふるさと牛飼い運動推進事業）に取り組み、牛肉の輸入自由化対策として肉用牛の増頭など底辺拡大を目指す運動を全県的に展開し、一定の成果をあげてきました。自由化が始まり、その影響が見極められつつある現在、産地としての生き残りをかけた新たな肉用牛振興策として「伊達な和牛の郷づくり」（伊達な和牛の郷づくり推進事業）を平成4年度から展開し、全県的なレベル・アップを図ることにより、国際化時代に十分対応できる力強い産地づくりを進めることとしております。

本事業については、前号で概要を紹介しておりますが、詳しい内容については以下に説明いたします。

1 趣 旨

国際化の進展に対応した肉用牛のグレード・アップの必要性、消費者ニーズの多様化への対応及び住

民の価値観の変化に対応した地域文化の創造等、畜産を取り巻く情勢の変化に迅速に対応し、地域の特性を活かした調和のとれた産地づくりを進める。

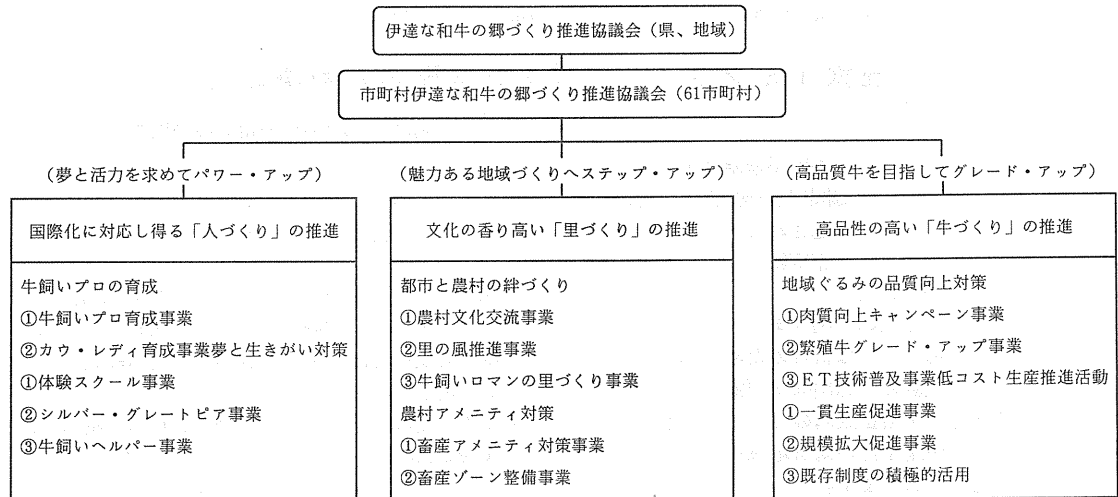
農業をめぐる国際化の新局面に対応し得る
プロ担い手の育成
 農村の利点を生かした
地域文化の創造
 牛肉の輸入自由化に対抗し得る
高品質牛の生産

2 目 標

- 「酪肉近代化計画」に即した肉用牛生産の拡大
- 経営体質強化のための肉用牛生産コストの低減
- 肉質向上による格付け率の改善

(畜産経営係 高橋 健)

(以下次号に続く)



<p style="text-align: center;">飼 料 は まるきた印</p> <p>採卵鶏用配合飼料 ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料 乳牛用配合飼料</p> <p style="text-align: center;">北日本飼料株式会社</p> <p style="text-align: center;">石巻市川口町3丁目2番8号 TEL 石巻 0225 (22) 6111 FAX 石巻 0225 (22) 6116</p>	<p style="text-align: center;">動物用 医薬品 (牛専用)</p> <p style="text-align: center;">トルラミックス</p> <p style="text-align: center;">特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合</p> <p style="text-align: center;">株式会社 ト ー シ ン</p> <p style="text-align: center;">古川市古川字上古川屋敷9番地の1 TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)</p>
--	--

< 畜試便り >

畜産試験場における平成4年度の試験研究計画

牛肉の自由化が平成3年4月から始まり輸入量の増加により畜産経営は厳しい現状の中で国際化に対応し、十分自立できるような体制を早急に確立することが緊要であります。

このためには、新技術の開発や、より能力の高い家畜への改良をはじめ低コスト飼料資源の確保が必要であります。

特に、育種改良におけるバイオテクノロジーの応用技術、生産コストの低減技術、高品質畜産物を生産する技術等の開発が急務であります。

また、消費者ニーズの多様化にも対応するため従来の畜産領域を超えた乳、肉、卵資源の開発を対象とした試験研究体制の確立も必要であります。

このことから、受精卵関連等新技術の開発と利用により家畜の能力向上や生産性の向上、オリジナリティー畜産の開発と推進を図る。一方、農業情報システムの整備による迅速な情報の提供を行い、技術や普及の効率化を推進します。

畜産試験場の主な試験研究内容は次のとおりです。

ア 酪農肉牛

乳牛については、生乳生産のコスト低減を図るため地域飼料資源の活用を図りつつ高品質生乳の生産技術並びに高能力牛のほ育・育成技術について試験研究を推進します。

肉牛については、低コスト肥育素牛生産をねらいとした交雑種による双子生産技術を検討すると共に、肥育実態を解明するための産肉情報の分析と、高品質牛肉生産の最適な肥育管理条件の試験並びに、県内で利用される種雄牛の遺伝的産肉能力の検定を推進します。

受精卵関係については、正常受精卵の安定生産技術と、凍結保存技術の検討、双子の成立要因解明による子牛生産効率の向上についての試験並びに、体外受精による未利用卵子の活用技術から、クローン牛生産に至る基礎技術の試験研究を推進します。

イ 種豚家さん

系統豚“ミヤギノ”の普及促進を重点に原原種の維持とその効率的飼養法の究明、有効利用を図るための交雑方式と高品質豚肉生産技術の検討、生産性向上を目指した子豚の離乳ストレス解消試験の他、バイオテクノロジー等新技術を活用した豚受精卵移植技術、豚精液の凍結保存技術など系統豚の能力を十分に発揮させるために必要な試験研究を推進します。


ウ 草地飼料

草地飼料については、自給飼料の低コスト高位生産と高品質粗飼料の安定確保を図るため転換畑飼料作物を含めた優良品種の選定、栽培調整技術の確立、飼料作物の生産特性と気象との関連の解明等についての試験研究を推進します。

環境資源関係については、全天候型良質粗飼料調製技術の開発、飼料資源の開発活用を図るため、低未利用素材の低コスト飼料化並びに、混合飼料の調製貯蔵システム化と流通技術の開発、また、堆肥肥連用圃場での、ミネラルバランスの改善技術の解明等についての試験研究も推進します。

平成4年度重点課題

- 1 高品質生乳生産の飼養管理
- 2 放牧による肥育素牛の低コスト育成技術の確立
- 3 効率的な高品質牛肉生産のための飼料給与方式の確立
- 4 牛体外受精に関する研究
- 5 ミヤギノを利用した系統間交雑豚の高品質豚肉生産に関する試験
- 6 ランドレース系統維持群の飼養方法に関する試験
- 7 豚の受精卵移植技術に関する試験
- 8 輪作体系安定化のための飼料作物栽培調製法の確立
- 9 飼料作物、牧草適応品種選定
- 10 オーインサイレージの省力調製貯蔵システム及び流通技術の開発

<p style="text-align: center;">空間噴霧型殺虫剤 シューバン乳剤</p> <p style="text-align: center;">主成分：エトフェンプロックス</p> <p style="text-align: center;">環境に与える影響が少ないクリーンな殺虫剤です。</p> <p>特長 包装：500ml、1.8ℓ、10ℓ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハエ、カ(成虫、幼虫)などの害虫に優れた効果を示します。 2. 落下したハエ、カの蘇生はほとんどありません。 3. 薬剤抵抗性を示すハエに卓越した効果を示します。 4. 低魚毒性ですので、水域でのボウフラの防除が可能です。 5. 刺激性や臭気も少なく、非常に高い家畜への安全性を示します。 <p style="text-align: center;">JAグループ農協・経済連・全農</p>	<p style="text-align: center;">正統の育ちと味</p> <div style="text-align: center;">  <p>仙台牛</p> </div> <p style="text-align: center;">仙台牛銘柄推進協議会</p> <p style="text-align: center;">仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449-50</p>
--	--

衛生便り

随想

豚ミステリー病について

ミステリー病とは、最近、海外で話題となっている豚に死産を引き起こす疾病で、1990年にドイツで初めて報告されました。ミステリー病の「ミステリー」とは原因が不明なために名付けられ、このほかにも豚流行性後期流産、ブルー・アポーション、ニュー・ピック・ディーズ、豚不妊呼吸器症候群等、発生国によりいろいろな呼び方がされていました。現在では各国の調査によって原因が究明されつつあり、豚の生殖器・呼吸器症候群と呼ばれています。

ミステリー病の発生は、ヨーロッパ地域ではドイツで3000件以上、オランダで1000件以上もあり、ベルギー、スペイン、イギリス、スイスでも発生が報告されています。また、アメリカ大陸でも、カナダ合衆国で多数の被害が報告され、オーエスキー病以上の問題になるのではないかと懸念される声もあります。

ミステリー病の原因は、オランダで発病豚により分離された因子が病原体として可能性が高いとされています。本病は伝染病であり、豚の移動と空気伝播により広範な地域に蔓延していくものと考えられています。

ミステリー病に汚染された農場は、繁殖障害(不妊・不受胎)、妊娠後期の死産・異常産、哺乳子豚の死亡がみられます。また、哺乳期から肥育期にかけては、細菌等の混合感染によるものと思われる事故率の増加が認められ、現在、流行が危惧されている豚オーエスキー病とよく似た状態を示します。

日本ではミステリー病の発生はなく、輸入動物の検疫により、ミステリー病は日本に侵入していないと思われるています。

なお、ミステリー病は、先に話題となった狂牛病とは違い、豚以外の人や他の家畜には感染しないとされています。

(仙台家畜保健衛生所病性鑑定課 鈴木正浩)

二日酔

お酒の強い人(飲める人)、弱い人(飲めない人)、がおり程々に飲める中間型があるようだ。

“二日酔は、健康のシルシ”とは言うが、二日酔で苦しんだ経験のある御人ならおわかりのように全く苦しく、辛く、身の置き処さえないようなものである。いくらかでも早く治る(良くなる)方法を色々と探し求めるものでもあるが、時間が経過につれ良くなることもおわかりのことだ。しかし、「酔ざめの水がうまいからお酒を飲む」と言うなど、二日酔など全く知らぬ呑人もいる。いずれにせよ、深酒は、身には良くないのは事実のようで、肝臓や膵臓は勿論のこと消化器系神経系そして血圧や骨にまで障害が及ぶらしい(学問的には)。そうならないように飲むのが呑んペエの中の呑んペエ殿であると思う。酔わないように、そして二日酔は絶対のない飲み方があるようで、飲んだアルコール分が加水分解され、身外に排出される速さと同じ速度で同じ早さか遅さで飲むことらしいが、ナア、ンダそんなとかと言うことで、こんなペースで酒飲みするなら飲まない方が良いというのが多方の呑んペエ殿である。ところでこの加水分解には、アルコール脱水素酵素(ADH)の働きでアルデヒドになり、次に、アルデヒド脱水素酵素(ALDH)の作用で酢酸になり排出されるが、ここで問題、このALDHの働きが弱いとアルデヒドが蓄積し二日酔の原因になるのだそうで、逆にALDHの働きの強い人は、酔にくい(お酒の強い)人で飲める人でもあるが、もう一つ遺伝的なものもあるようだが、練習によっても腕が上がることも事実のようである。(そもそも素質の持主が上がるようであるが?)。いずれにしても肝腎なところを大切にあまり無理をしないように、議会などの議を経ない週休完全二日制『休肝日』にしたいものである。(築館家畜保健衛生所 谷津 邦郎)

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688



動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社
TEL (25) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目3-8
022(225) 7338~9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28
0229(34) 2018~9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1
0220(22) 2278